一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 5月19日

議 会 議 長 様

議席番号 4 番

議員氏名 久松祐樹

質問事項	質問要旨	指定答弁者
1. 地域コミュニティの再生を	<p>米ハーバード大学などの研究チームは、日本を含む世界の22か国に住む約20万人の幸福度を多面的にアンケート調査した結果を公表した。日本は最下位の22位。「幸福感や人生の満足度に加えて、心身の健康や交友関係なども調べ、日本は楽観主義や自由、達成感などの多くの指標でスコアが最も低かった。親しい友人がいると答えた人が顕著に少なく、不安や心配などを感じる人も多く、人間関係の広がりや幸福度と関連している可能性がある」と指摘されている。</p> <p>私は、自治会が「人と人とのつながり」のために、とても大きな役割を担っていると考えている。地域住民からは、自治会活動への不安や心配のお声を頂戴している。災害時などにも備え、「人と人とのつながり」を強化していくことが大切であると考えている。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) どんな小さなことでも、すべての方々が、喜びや生きがいを与え合うことで地域も活性化していくと考える。地域コミュニティの再生に対して当町の見解は。</p> <p>(2) 自治会活動の課題をどのように分析されているのか。また、自治会活動を支えるために現在はどういう取組をされ、今後はどのような取組をされていくのか。</p> <p>(3) 当町では、地域にある資源と地域住民のできることを組み合わせ、杉戸町地域支え合い型移動支援事業を行っている。本事業の進捗状況は。</p>	町長 副町長 住民協働課長 高齢介護課長 担当課長

5月19日 午前・午後10時50分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
<p>2. 生きがいを持続的に支えていける運営を</p>	<p>令和6年、議会だより編集委員会の取材で「すぎとピア」にある「ふるさと元気村」に伺った。「ここに来るのが楽しみ」という地域住民の方々の笑顔が印象的だった。</p> <p>しかし、室内に修繕が必要な箇所が見られ、備品の劣化も確認された。このような状況は「ふるさと元気村」に限ったことでもないと感じている。地域住民の「生きがい」を守るために、持続可能な運営の仕方を検討していく必要があるのではないかと考える。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 「ふるさと元気村」に関して、生きがいづくりに向けた環境整備が必要だと考えるが、財政的にも維持管理が行き届いていない現状があると推察している。現状の課題やその解決策をどのように考えているのか。</p> <p>また、維持費の捻出が重要だと考えるが、当町の見解は。</p> <p>(2) 令和6年11月、奈良県三宅町にある「三宅町交流まちづくりセンターMi i Mo」を視察し、当該施設の企画運営の最高決定機関に地域住民に就いていただく運営体制や、施設利用料を利用者に還元する循環型の財政を学ばせていただいた。このような運営体制や財政に対して当町の見解は。</p> <p>また、当該施設は直営で運営されている。「すぎとピア」は指定管理で運営されているが、杉戸町社会福祉協議会は当町と関わりが深い組織である。「すぎとピア」でもこのような運営体制や財政を参考に運営の仕方の検討を提案するが、当町の見解は。</p> <p>(3) 当該施設の運営体制や財政を「ココティすぎと」にも生かして、より一層、地域住民を主役としたまちづくりが重要であると考え、当町の見解は。</p>	<p>町長 副町長 高齢介護課長 住民協働課長 市街地整備推進室長 担当課長</p>

質問事項	質問要旨	指定答弁者
3. 農業の未来を守るには	<p>米の販売価格は、1年前と比べておよそ2倍となっており、「物価高で生活が苦しい」というお声を頂戴している。農家からは、「肥料や除草剤も高騰していて苦しい」「トラクターなど維持管理が大変」「後継者がいなくて、私たちがいなくなったら、家も農家を続けられない」など、生産コスト上昇や後継者不足による、苦しいお声も頂戴している。さらには、町内には耕作されていない土地が散見される。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 当町の農業の課題をどのように分析し、対応されていくのか。</p> <p>(2) 杉戸町の農業の未来を守るために、今後どのような取組をされていくのか。</p>	<p>町長 副町長 産業振興課長 担当課長</p>